

活動団体紹介

柴田かたりべの会

◆ふるさとの民話を伝えていきたい◆

平成9年、シルバーボランティア向け「かたりべ養成講座」の受講生が中心になり、「ふるさとの民話を絶やさず、語り伝えていきたい」との思いから設立されました。

◆伝える、ふれあう◆

会員の方達は「自分が子どもの頃に聞いていた地域の民話が無くなるのはもったいない」と思い、かたりべの活動や民話を収集、保存するようになりました。民話のかたりべと一緒に、子ども達にあやとりや、おはじきといった伝承遊びを伝える活動も行っています。会員の皆さんは「民話や伝承遊びを伝えるという活動の中で、子どもとふれあうことが元気の源となっています」と話しています。主な活動場所として放課後児童クラブ、福祉施設、公民館、小学校、老人会で活動しています。

◆一緒に活動してみませんか◆

子どもから高齢者の方まで幅広い年代の方と交流することで、いろいろな体験をさせていただいております。これからも、いろいろな場所で活動の輪を広げていきたいと思っています。

興味のある方は、ぜひ下記連絡先までお問合せください。



事務局 お問合せ：柴田かたりべの会鳴海 雪子 0224-55-5332

今月4日は二十四節気の「立春」、18日は「雨水」で暦の上では春ですね。まだまだ冬という感じですが、季節は確実に春へ向かっています。幼稚園や保育所では、豆まきの行事で賑やかな声が聞こえてきそうです。「豆まき」や「恵方巻きのまるかぶり」で福を呼び込み、気持ちだけでも春を迎えたいですね。
ゆる.ぶらスタッフより

(お問合せ先)
■柴田町まちづくり推進センター (イオンタウン柴田内)
電話 86-3631 FAX 86-3641
eメール yurupura@ji.jet.ne.jp
開館時間 10:00~18:00
<2月の休館日: 4日、12日、18日、25日>
■柴田町まちづくり政策課
電話 54-2111 FAX 55-4172



回 覧

しばたまち交流ひろば

ゆる.ぶら倶楽部 2月

2013.2.1 ニュースレター第31号

いろいろな雛人形展

皆さまからお借りした雛人形を多数展示します♪

●展示期間：2月19日(火)~3月3日(日)

※写真は昨年の雛人形展の様子です。



体験会のご案内



2月23日(土)
10:30~11:30
「綿棒雛の貼り絵」
材料代: 100円
定員: 10名



2月23日(土)
13:00~15:00
「プリザーブドフラワーで雛祭り」
材料代: 1,000円
定員: 12名

2月24日(日)
13:00~14:30
「押し花で本格額絵」
材料代: 1,200円
定員: 5名



3月2日(土)
10:15~12:15
「和紙の立雛ミニ色紙」
材料代: 500円
定員: 20名



3月2日(土)
13:00~15:00
「アロマ春色雛祭り せっけん」
材料代: 500円
定員: 12名



3月3日(日)
11:00~14:30
「押し花しおり、メッセージカード」
材料代: 100円~250円
定員: 15名

先月のギャラリー展示の様子

◎ 鈴木誠おもしろ絵画展



県シニア展や多賀城展で入賞した作品を数々展示していただきました。



囲碁・将棋教室、口笛コンサートのご案内

◎ 「囲碁・将棋教室」 2月7日(木)、16日(土) 10:00~17:00

槻木囲碁・将棋教室のベテラン勢がルールやマナーを解説します。対局や見学も自由！



◎ 「サロン口笛コンサート」 2月10日(日) 13:30~14:00

口笛楽友クラブファルセットの皆さんによる楽しい口笛コンサートです。入場無料ですのでお気軽においでください。2月はロシア民謡「トロイカ」や「なごり雪」など演奏します。どうぞお楽しみに！



まちづくり推進センターからのご案内

活動団体紹介 槻木駅と周辺を明るくする会

◆ 1本の電話から始まった巡視活動 ◆

平成14年4月、民生委員から高橋良知さん宅に「槻木駅が怖い」と電話がきました。気になった高橋さんが駅に行くと、そこには少年たちが喫煙し、たむろしている姿がありました。この無秩序な状態に対して、大人による巡回の必要性を痛感した高橋さんは、この電話のあった翌日から巡視するとともに、ボランティアとして活動する有志を募ります。正式に会が発足したのは、平成14年7月17日ですが、活動開始から実に10年が経過しています。

◆ 少年たちの変容 ～周りの目があれば問題は起こさない～ ◆

約30人の会員が、当番制で朝夕の巡回をしたところ、座り込みや喫煙など、少年たちの問題行動が減ってきました。少年たちから何をされるかわからないといった恐怖は、杞憂だったのです。会員の皆さんが少年たちに積極的に声をかけて接していくうち、少年たちとの隔たりがなくなり、彼らの優しささえも垣間見え、一人ひとり悪い子ではないということがわかりました。問題行動を起こす少年たちは、複雑な家庭環境などの理由から、愛情に飢えていたのです。この少年たちへの救済の手立ては、声掛けと巡視という愛情だったのです。

◆ そして会員たちの心にも・・・『我が槻木』郷土愛の芽生え ◆

たむろする少年たちや駅周辺の汚れた環境を地域の問題としてとらえ、巡視や清掃などひたむきに活動していくうちに、会員相互の交流と親睦が深まりました。そして活動すること自体が会員の生きがいと喜びに変わってきたのです。さらには、槻木駅周辺での活動ですから、地域への関心が増し「我が槻木」といった郷土愛が芽生えました。

◆ 地域を支える活動に参加してみませんか ◆

現在、会員は32人(男性15人・女性17人)、50~70歳代で構成され、年会費は保険代込みで1,000円です。子どもの健全育成、環境保全を目的に土・日曜日を除く平日に当番制で活動しています。代表の高橋さんは、会員の頑張りで大変感謝しており、また地域を支える活動を通しての満足感と郷土愛をもっと多くの方と共有したいと話しています。

(写真) 槻木駅構内をすみずみまで清掃する会員の皆さん。構内の他、駅前ロータリーの草刈りやゴミ拾いもしています。最近では葛岡潤和会や駅西地区の方々と共同で作業をしています。



(お問い合わせ) 槻木駅と周辺を明るくする会代表 高橋良知 ☎56-2065